

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 学校給食費について	女川町総合計画2019では重点的な取組として、「子どもたちの成長を、まち全体で支える教育環境の構築」と記されています。学校生活での適切な学習指導や子どもたちへの効果的な生活指導等を行うため、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保することこそ重要と考えます。 本町では昔ながらの現金受渡しによる給食費の集金を行っています。適切な現金管理等のため教職員の負担増加や保護者との金銭受領の確実な確認、子どもが現金を紛失してしまうリスクが伴います。 (1) 金銭の紛失防止や教職員の負担軽減による子どもと向き合う時間、授業改善検討の時間の確保といった学校給食費の口座振替化によるメリットは大きいと思われますが、導入に対する見解を伺います。 (2) 学校給食費の一部無償化が実施されていますが、少子化が進む中、対象となる児童生徒も少なくなっているため、一人っ子家庭の負担軽減も将来的に必要と考えます。 口座振替に変更すること同様、給食費を無償化することで、教育環境向上と保護者の負担軽減

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 便利な公共交通の 「実現」を	減の両方が図れることから、完全無償化を提案 しますが見解を伺います。
	(質問の相手：町長・教育長・担当課長)
	令和5年度12月定例会において、ライドシェア について見解を伺いました。町長答弁の中で「活 用すべき一つの手段」とありましたが、現状と課 題について伺います。
	(1) 仙台市でも曜日や時間帯を限定してライド シェアを導入する方針が示されました。本町 も地域住民の足の確保は政策的にも大きな課 題です。国が示す現行の制度を踏まえ、本町 で実現し得るのか町長の見解を伺います。
	(2) 高齢化の進展により住民は移動手段の確保 に困っています。実際、ペタンク等の各種大 会への参加の際、運動公園に足を運びたくて も町民バス等公共交通の時間が合わず、参加 を諦め外出機会を失ってしまう人がいます。
	外出の目的や意思があっても移動手段確保が 困難となっている住民のための交通環境構築が 必要と考えますが、公共交通運行の方向性につ

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	いて見解を伺います。 (3) 「町民バス停まで行くのが遠い」との声も あります。半島部の住宅地域内の道路をフ リー区間にできれば、利便性向上となるので はないでしょうか。 地域限定となり課題は残りますが、実施可能 なところから試行することで、将来的な町内全 体の課題解決につなげていけるものと思います が見解を伺います。 (質問の相手：町長・担当課長)